

浸水被害を受けた水稻の緊急対策情報

● 8月27日の大雨で多くの水稻圃場が浸水しています

周辺の安全が確保でき次第、圃場の排水を進め、速やかに収穫・調製作業に取り掛かれるようにしましょう

【具体の対応】 ※天候の回復・周辺の安全確保後に実施すること

- ほ場や用排水路に土砂が流入し、水路を阻んでいる場合、土砂を排除し、用排水路を確保する。
- 成熟期に達している早生・中生品種は胴割粒の発生が懸念されるので、速やかに刈取りをする。
- 倒伏した稲で収穫時期が近いものは、速やかに排水し、ほ場を乾かした後、できる限り早く収穫する。
- 成熟前に倒伏して、穂が地面についているものは、穂発芽が発生しやすいため、速やかな排水に努める。
- 倒伏や穂発芽等により米の品質低下が明らかな圃場では、被害を受けていない圃場とできるだけ分別して収穫・乾燥を行う。
- 収穫後 4 時間以内に乾燥機に搬入し、直ちに通風乾燥を行う。
- 乾燥作業は通風から始め、徐々に加温し穀温が40℃以下で乾燥作業を実施する。急激な乾燥は胴割れ等の品質低下の危険性が大きいので行わない。

※安全の確保できることを前提に、

可能な範囲で被害状況の写真を撮っておいてください

【参考】浸水被害による減収率 ※気象災害対策マニュアル（R3.3改定版）

被害時期	濁水帯水 1 - 2日		濁水帯水 3 - 4日		濁水帯水 5 - 7日	
	損傷状況	減収歩合	損傷状況	減収歩合	損傷状況	減収歩合
出穂期	穂重がやや減少	30%	下葉が黄化し枯れる	80%	下葉が黄化し枯れる	90%
成熟期	ほとんど損傷はない	5%		20%		30%

※管内「ゆめみづほ」は成熟期、「コシヒカリ」は成熟期間近の状況です